

山本クリニック

令和 5 年度第 2 回介護・医療連携推進会議議事録

場 所：医療法人久生会 山本クリニック 3 階会議室

開催日時：令和 6 年 3 月 26 日（火）15：00～16：00

1. 挨拶

① 挨拶・・・定期巡回随時対応型訪問介護看護 管理者 遠藤 安岐子

本日は、お天気の悪い中、ご出席いただきましてありがとうございます。

② 出席者自己紹介（別紙資料 1 参照）

2. 議事内容

① 定期巡回サービス提供等状況報告について(別紙資料 2 参照)

令和 5 年 12 月～令和 6 年 2 月までのサービス提供状況です。

2 月現在の利用者数は、38 名。サービス付き高齢者向け住宅での利用者が 37 名、地域で利用者が 1 名という状況です。昨年度と利用者数は変わっていません。

令和 4 年度と令和 5 年度の 2 月の利用状況を比較すると、日中の定期訪問が昨年度、1055 回、今年度、1152 回 夜間定期訪問が昨年度、1980 回、今年度は 3723 回となっています。今年度は定期の回数が増えています。随時訪問が日中、夜間とも昨年度は、991 回、今年度は 236 回と減っています。

これは利用者ごとの生活習慣を見直し、サービスの提供時間や起床時就寝時の介助、排泄、安否確認の定期を増やしたことにより、随時の対応、訪問が少なくなったと思われます。

特に排泄介助（トイレ介助、パッド交換）の見直しを行い、衣類、寝具までの失禁が多かった方には、トイレ介助のタイミングやパッド交換の時間などをこまめに対応し、不快な時間が少しでも少なくなるように対応しました。また、自分でトイレに行かれる方もよく転倒したりしていたのを定期で声掛けし、転倒することも少なくなりました。起床時や就寝時も苔掛け、準備を定期で入ることにより、どうしたらよいのかという不安も減っているようです。今後も利用者様の状態や状況に合わせ、サービスの時間や内容を変更し、対応していきたいと思えます。

② 自己評価について（別紙資料 3 参照）

③ 外部評価について（別紙資料 3 参照）

お忙しい中、外部評価への回答、ありがとうございました。

自己評価・外部評価を公表、説明

・項目以外の外部評価コメント

出来ていないことが多いに○をつけている項目について

6番の項目

シフトの工夫は行っています。職員の人数も昨年度より減っている状況です。コロナ感染者が出た場合など、感染を広げないように職員の配置を固定するなど出来る限り対応を行っています。入浴の嫌いな方には不安にならないように一固定の職員が当たるように出来る限りシフトの工夫を行っています。

最適というほどの事は出来ていないと思うので、昨年度と同じ評価としています。

29～32番の項目

これらについてはやはり、地域への提供が進んでいないということで出来ていないことが多いと評価をしました。

法人内で地域提供の利用者を増やすための話し合いを行い、ケアマネジャーからも定期巡回の提案をしたい利用者について相談がありました。

1日数回のサービスが可能でない現状であることが、問題となっています。

と、いうのも、求められるサービスの提供時間が同じ時間帯となるので、職員を配置出来ないからです。

今後も地域提供を増やすことが目標ですので、周知活動を行っていけるように、人員確保に努めたいと思います。

評価について

自己評価については信じていただくしかないような状況ですが、地域での提供が1件ですので、つどいの郷での提供の様子などは見学等、受け付けさせていただきます。

研修の資料も一部載せていますが、今後はどのような研修をしているかなどを公表していきたいらと思っています。

④ その他事項（定期巡回サービス提供等以外）について（別紙資料2参照）

サービス付き高齢者向け住宅 つどいの郷 管理者 中山 さとみ

サービス付き高齢者向け住宅 つどいの郷の状況報告

- ・今年度のイベント・出来事
- ・つどいの郷備蓄飲食料について
- ・防災訓練（海南省一斉防災訓練に合わせて、定期巡回職員と共に実施）
- ・つどいの郷の食事について
- ・つどいの郷入居状況 令和6年2月現在

⑤ 質疑応答

Q. 外部評価は来年もこんな感じで書面でという形ですか？なかなか、施設の状況がわからなくて、コメントだけ見て評価するというのは厳しいかなと思うのですが。

A. サービス付き高齢者向け住宅に来ていただくということは可能ですが、どうでしょうか？

高齢介護課様よりの御意見

実際現場を見るというのはいいと思います。この評価項目というのは、定められたものですので、これに対して各評価を行っていくという作業自体は変わらずやる必要があると思います。ここに書いている項目だけを見て評価するというのが、現場を知らない者、見ていない者からすれば評価の仕様がないうのがご意見だと思います。

外部評価は、サービス付き高齢者向け住宅の評価ではないという事で一緒にしてはいけない。定期巡回のサービス、地域密着型サービスのサービス提供に関しての評価を行う場である、医療との連携を兼ねている場です。サ高住の状況、利用者の状況と切り離して考えていく必要があると思います。

参加者の一員として、サ高住の状況、利用者の状況を話されるのはいいと思います。

私たちがすべての項目にコメントを入れているわけではなくて、家族さんでしかコメントできない項目もあつたりします。なので、色んな方々が参加している、家族さんであつたり、連携室の方だつたり、病院の方だつたりと参加している。自分たちが実際携わっている、関わっているサービスにおいて、自分たちが感じる事を評価コメントとして入れていくわけなので、全部にコメントというのはないと思います。

今後、研修内容だけではなく、実施していることなどは発表していきたいと思います。

Q. ①定期巡回サービス提供等状況報告についての令和4年度と令和5年度を比較して、定期巡回の頻度を増やして、結果として随時訪問の回数が減ったということですが、これは定期を増やしてみようかと試み的にやられたのか？

A. 随時でこの時間に対応するのが多いなあ、この時間に失禁していることが多いとかがあり、排泄のタイミングや排泄量を観察し、利用者の生活習慣などを見直し、定期で入れていくことを実施しました。その結果、今現在、利用者の状態にあつた定期を入れることにより随時の回数が減っていますが、状態の変化によりまた、増えることもあると思います。昨年度と今年度の利用者数は同じですが、利用者は変わっているので、起床時や就寝時などの声掛け、準備などを定期で入ったり、不安に思う利用者にも夜間等の定

期を増やしたりしましたので、定期の回数が大幅に増えてましたが、随時はかなり減りました。

Q 定期の回数が増えたことにより、スタッフの負担度は？

定期の回数が増えるということはスタッフの訪問する回数が増えるという事だと思えます。その分随時、ランダムな呼び出しが減っています。利用者にとってはどっちが良いのかとも思いますが、スタッフの負担というのも一定程度考えて行かなければと思えます。

今回、定期訪問の回数を増やすということを試みて良かったと思えますか？

随時訪問が減った分だけランダムな対応が減って、利用者さんも周期が合ってきて、良くなってきたのか？

A. ある意味、職員の負担は増えていると思えます。

ここまで随時が減っているというのが、今回データを出して見えてきた事なので、改めて職員の負担が極端に増えていないか職員にも話を聞いていきたいと思えます。

高齢介護課様より

介護職員の確保が困難であったり、今、勤めている職員が辞めてしまったりというのも、原因に業務が大変というのがアンケートで上位を占めているので、利用者さんの満足度を上げるのと同じレベルで介護職員の負担を軽減する取り組みというのにも必要だと思えます。

定期を増やしたという取り組みは、いい取り組みをしていると思えます。利用者様、職員にとって、定期と随時のウエイトはどれくらいの塩梅が良いのかは難しいと思えますが、いい取り組みだと思えますので、過度の負担にならず、利用者様の満足度も上げられる事を、今後も試みてもらいたいと思えます。

3. 閉会

今後の会議の開催予定

次回開催は、日時等は決定次第ご連絡させていただきます。